

42. ポータル・ポイント

南緯64度30分、西経61度46分
ダンコ海岸、ルクリュ半島の北東地点

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



主な特徴

- 歩きやすい氷河および氷河の風景
- 南極大陸への上陸サイト



概要

地形

ルクリュ半島の北東部に位置する細い岬。シャーロット湾の入り口を見渡すように突き出た高い崖を含む。岬からは小さな半島が2つ突き出しており、1つは円形、もう1つは海拔の低い岩場である。

動物相

上陸する種：オットセイ、ウェッデルアザラン

時々姿を見せる種：ミナミオオトウゾクカモメ、ジェンツーペンギン、オオフルマカモメ

休息する種：ズグロムナジロヒメウ、オオフルマカモメ

その他

イギリスの避難小屋CR（ケープ・ルクリュ）の跡地（1956年に建てられ、1957年から1958年にかけて断続的に調査活動のために使用された）。別名ポータル・ポイント。ダンコ島（基地O）を拠点とする調査隊が1957年にここで越冬し、現地調査活動を続けていた。1957年10月9日から12月30日にかけて、ウォーリー・ハーバート卿率いる4人の探検隊が、ホープ湾からケープ・ルクリュまで犬ぞりによる初横断を果たした。

その後、小屋は別の場所に展示するため南極から移動された。現在ポータル・ポイントには、コンクリートの基礎部分のみが残っている。

訪問者の影響

既知の影響

特定されていない。

潜在的影響

野生生物への攪乱。

上陸要件

船舶*

最大乗客数：500名

1日あたりの来島船舶：3隻

注釈：*船舶の定義は、13人以上の乗客を乗せた船とする。

訪問者

ガイド1名あたりの訪問者数：20名

注釈：同時に上陸・滞在できる訪問者数上限（ガイドを除く）：100名

42. ポータル・ポイント

南緯64度30分、西経61度46分
ダンコ海岸、ルクリュ半島の北東地点

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



訪問区域

上陸区域

第一候補上陸サイト：大きい方の岬と小屋CRの跡地がある岬との間の、風が当たらない入江。

第二候補上陸サイト2か所：1か所めは、第一上陸サイトから岬を挟んで反対側にある。2か所めは、小屋CRの跡地がある岬の裏側。いずれも岩場への上陸となり、上陸サイトの近くでは浅瀬の岩礁を避けるよう注意する。

閉鎖区域

なし。

ガイド同行での歩行（可能）区域

ガイド同行の上、第一上陸区域の正面にある突き出た崖まで坂を上っていくことができる。さらに周辺を歩いたり、小屋CRの跡地まで坂を下ったり、反対方向に向かい円形の半島に行くことができる。

自由散策区域

上陸サイト区域を自由に散策することができる。

訪問者の行動規範

陸上での行動

- 念のため野生生物から5メートルの距離を取り、動物には道を譲る。野生生物の行動に何らかの変化が見られた場合は、この距離を増やすこと。
- 坂の頂上まで歩く際は、ガイドが同行すること。尾根ではしっかりと指示に従うこと。

注意事項

- 坂の頂上は切り立った斜面であり、斜面の端に近付いて初めて分かるため、頂上に向かう訪問者は常に用心をし、道標のある安全な道から外れず、また端からは安全な距離を取る。
- シーズンの初めには、上陸サイトに大量の海氷があり、また雪で覆われている。
- 当該サイトの既知のリスクとしてクレバス形成があり、特定されているクレバスが1つある（位置は南緯64度30.017分、西経61度46.258分）。
- 高い方の岬にはクレバスがあり危険である。立ち入りは、適切な経験と訓練を積み、適切な装備（例：ロープを使った登攀）のある訪問者のみとする。
- 当該サイトの周囲にある雪で覆われた崖は不安定であり、近づく際は注意する。

42. ポータル・ポイント

南緯64度30分、西経61度46分
ダンコ海岸、ルクリュ半島の北東地点

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



第一候補上陸サイト



第二候補上陸サイト



小屋の基礎部分

42. ポータル・ポイント

南緯64度30分、西経61度46分
ダンコ海岸、ルクリュ半島の北東地点

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide

